

第3章 炉端の会の活動の記録

3-1 日常活動

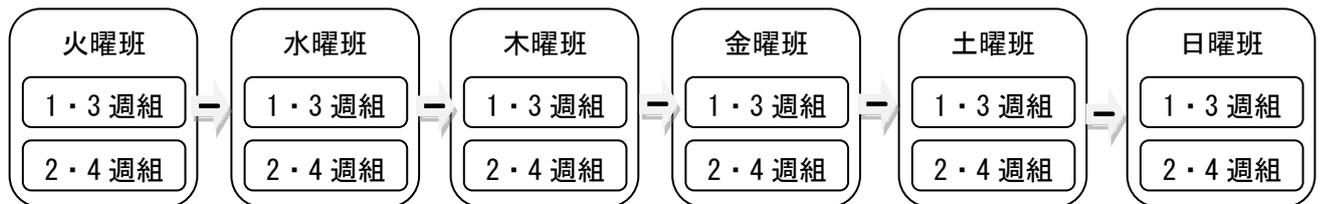
3-1-1 床上公開

炉端の会の主要活動である床上公開活動（公開棟での火焚きと来棟者への解説など）は、毎日、10時頃から冬季以外（3月～10月）は15時半、冬期（11月～2月）は15時まで行っています。

基本の活動

- 1) 火焚き：虫害・湿気から古民家を守ります。
- 2) 清掃：ホコリ・ゴミ・虫の巣等を除去します。
- 3) 来園者への対応：普段上がれない床上にあがっていただき古民家を体験してもらいます。また、質問などにも答えます。

このような活動を以下の班（組）に分かれ、連続して2週間同じ古民家にて行っています。



では、1日の活動の様子を見ていきましょう。

1. 朝の打ち合わせ

- ・ 9時30分に民家園集合
- ・ 園からの連絡事項の伝達と来園団体などの確認
- ・ 定時ガイドの担当を分担
- ・ 本日の古民家を割り当てる（最低3名で担当する）



2. 各古民家に移動

- ・ 民家園入り口の掲示板に床上公開棟の「お知らせカード」を貼る
- ・ マッチ、焚き付け用古新聞、当番日記などをもち各床上公開棟に移動する



3. 火焚き作業

- ・ 床上公開棟の看板掲出
- ・ バケツの水などを確認

火消壺の消炭、古新聞、焚き付けを囲炉裏にセットし、マッチで点火

(マッチと余った古新聞は必ず持ち帰り、所定の場所に戻す)



4. 棟の掃除作業

- ・ 火焚き作業と並行して棟内を清掃する
- ・ 床を雑巾で水拭きする
- ・ 一部の棟は、糠袋で床拭きする
- ・ 畳は、ほうきで掃き掃除する
- ・ 土間などもほうきで掃除をする



5. 来園者の対応 : 一般来園者

- ・ 来園者に普段見られない床上へ上がって貰う
- ・ 囲炉裏端を体験して貰う
- ・ 当該棟の特徴などを必要に応じて解説する



6. 来園者の対応 : 小学生の課外授業

- ・ 川崎市立小学校(3年)及び近郊の小学校などの課外授業として、来園
- ・ 必要に応じて、生徒に易しく解説する
- ・ 時には、「脱いだ履き物」の扱い方などの躰を行う事もある



7. 火焚きの後始末、確認

- ・ 燃え残りを火消壺に移す
- ・ 灰をかぶせて炉端全体を消火する
- ・ 最後に炉端に蓋板を被せる
- ・ 鉄鍋の湯を処分して乾燥させ火消壺などと蓋板の中央に置く



8. 日誌の記入

- ・ 当番棟への来棟者数、薪の残量状況、当日の特記事項、連絡事項等を記述



9. 床上公開棟より退出

- ・ 囲炉裏周辺の消火状況を再確認
- ・ バケツの水等の確認
- ・ 床上公開棟の看板を片付ける
- ・ 全体が整理整頓されている事を確認
- ・ (マッチと古新聞を持ち帰る)



10. 事務所に集合し解散

- ・ 事務所に戻りマッチと古新聞を所定の場所に収納
- ・ 日誌などの各用具を収納
- ・ 民家園入り口に掲示していた床上公開棟お知らせカードを回収する
- ・ 散会の確認事項の取り交わし
” 今日一日、お疲れ様でした”



(編修委員 10期 土曜 水野)